



2024年5月9日

各位

上場会社名 アルプスアルパイン株式会社
代表者名 代表取締役 社長 CEO 泉 英男
(コード番号 6770 東証プライム)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部 部長 鈴木 睦
(TEL (050)3613-1581 (IR 部門直通))

株主還元方針の変更に関するお知らせ

当社は、株主還元方針を下記のとおり変更しましたので、お知らせします。

1. 変更の理由

当社は、資本政策として、成長投資・健全な財務・株主還元の3つのバランスを取る方針としています。今回、2024年3月期通期決算で公表の経営構造改革を推進し、第3次中期経営計画期間の早期にPBR1倍以上を目指すこととしました。同時に企業価値向上の成果を、より中長期に安定的かつ継続的に株主の皆様へ還元することを経営上の重要課題と捉え、株主還元方針を変更することとしました。

2. 変更の内容

変更前	2022年から2024年度までの第2次中期経営計画期間中は、「安定配当+業績連動」重視し、単年度25%もしくは20円の大きい基準で安定配当、3年累計(平均)35%の総還元性向を目標とします。
変更後	株主還元の指標として、中長期に安定的かつ継続的に還元するためにDOE(自己資本配当率)を採用のうえ、3%を目安とします。本方針は2024年度から開始し、原則として4年間運用し、2028年度から始まる第4次中期経営計画のタイミングで必要な見直しを行います。

※当該期間中においても大きな経済危機など想定外の事態が発生した場合は見直すことがあります。

※自己株式の取得につきましては、従前同様に他の投資案件との比較、資本効率や財務状況を勘案しながら総合的に判断する方針とします。

3. 変更の時期

2024年度(2025年3月期)より適用します。

なお、2024年3月末日を基準日とする剰余金の配当は、変更前の還元方針のもと、業績の動向、財務体質等を総合的に勘案し、期末配当を1株当たり10円の配当とする案を第91回定時株主総会に付議する予定です。

(補足) 資本政策の考え方

基本方針として、成長投資・健全な財務・株主還元の3つのバランスを図ることとしています。

成長投資

事業ポートフォリオに合わせた投資の選定や資本効率を意識しながら、新事業・新製品の立ち上げのための投資、増産に対応するための生産能力拡大投資、人手不足に対応する自動化投資、生産性を高めるためのDX投資、非連続的な成長を獲得するためのM&Aなどへの成長投資等を行い、企業価値の最大化を実現していきます。

健全な財務

当社は車載、民生、産機の各市場の顧客へ長期に安定した製品供給責任があり、ビジネス獲得・継続のために顧客から健全な財務基盤が求められています。また、数十年に一度と言われる急激な経済危機や、大規模な自然災害等の不測の事態が生じた場合であっても対応可能な健全な財務基盤が必要です。当社での健全な財務の状態の目安は、国内格付A格、自己資本比率50%、ネットキャッシュプラスとしています。

株主還元

上記記載に準じます

以 上